

B-1 長崎原爆被爆者の QOL

長崎大・医 柴 田 義 貞*

長崎大・医 三 根 真理子

長崎大・医 太 田 保 之

原爆被爆者の QOL 評価を目的に、長崎市が被爆者健康手帳保持者 5,000 人を対象に 1997 年に実施した訪問調査の回答者 3,831 人のうち、爆心地から 2.5 km 以内で被爆した近距離被爆者 806 人と 4 km 以遠で被爆した 1,047 人について、主観的健康状態、ADL、手段的 ADL、生き甲斐・生活のはり、居住環境、GHQ-30、被爆体験想起、健康状態と被爆の関連を比較した。最後の 2 項目を除き両群に有意差は認められず、被爆より個々人の社会経済生活などを反映した結果となった。